

# 高齢者の健やかな生き様は 平和運動へ帰結する

## 神奈川県職労退職者こだま会第18回総会

退職者  
こだま会

神奈川県職労

神奈川県自治会館  
二〇〇二・六・二七



退職者

こだま会報

no.57



### 第18回定期総会報告

(会報56号 二頁参照)

第18回総会は、六月二十七日(木)、

神奈川県自治会館の七階七〇一号室、

七〇三号室を使って開かれました。

総会に先立ち、例年のとおり「相

談コーナー」が一二時より開かれま

した。

年金相談 山口順久氏(社労士)

相続遺言・不動産取引相談

生方武羅夫氏(行政書士)

介護相談 湯川 勉氏

(ケアマネージャー)

健康食相談 上野多恵子氏

(管理栄養士)

#### 開会

一時三〇分、司会、山本文子幹事。

現在の出席は六六名、委任状六一

三名、会則第一二条の総会成立要件

(会員総数一〇九三名の%)を満た

し、総会の成立が確認されました。

つづいて、前回の大会から今日まで

に物故された、別記の八名の会員に

たいし哀悼の黙祷をささげました。

ひきつづいて議長選出に移り、議長

に日原輝氏を選出し、議長あいさつ

の後議事に入りました。

代表幹事あいさつ(要旨)

生方武羅夫代表幹事代行

ご来賓の皆さん、会員の皆さん本

日は雨の中、第一八回の県職労退職

者会総会にご出席いただきまして誠

に有難うございます。私は代表幹事

代行をしている生方と申します。実

は代表幹事の鈴木しげ子さんは七年

間にわたりまして代表幹事として退

職者会の発展と活動の充実に多大な

貢献をなさった訳でございます。最

近家庭の事情と健康が優れないので、

任期の半ばですが辞任をしたいとの

申し出があり、それを受けまして会

則と幹事会の決定によりましてたま

た副代表をしております私が、

残りの期間を代行することとなりま

した。よろしく願います。

今年になりました政治家・官僚・

地方自治体の首長・企業などを巻き

込んだ汚職や税金の浪費などが次々

と暴露されています。国民の大きな

怒りと呼んでおります。私たちは県

政の民主化・行政の透明化という方

向で、県民本位の県政を求めていく

ことが重要です。

さいきん国会の会期が延長され、重要法案がいくつも出されております。中でも医療改革法案は衆議院から参議院に審議が移っています。この医療改革法案について小泉首相は「三方一両損」と言っておりませんが、今度の法案では、国民は健康保険の保険料値上げ・患者は窓口の支払い増・病院は診療報酬の切り下げで国民にのみ負担をおしつけています。反対の決議案をお願いしているところであります。

また、有事三法案についても重大な関心があります。こだま会会員の多くが太平洋戦争(第一次世界大戦)で戦争に行ったり、戦争に行かなくても空襲で逃げ回り、学業の代わりに動員され、食糧難で育ち盛りにヒモジイ思いをしています。すでに半世紀以上過ぎて知らない人たちが多くなっているなかで、平和な世の中の戦争の語り部として大いに努力をしていきたい。

高齢者が誇りと尊厳をもって暮らしていきけるような世の中とするために活動をつよめていきたい。

しかし、財政に限りがあり、その枠のなかでということなので、運動の広がりにもないいろいろな分野でのボランティアが大勢必要となっておりますので、会員の参加をお願いします。

### 来賓祝辞(要旨)

神奈川県職労中央執行委員長

加瀬文隆氏

利益誘導型の政治はもう駄目だよということがやつと日本の国内で合意形成されたように思います。ただ、その後どういいう国づくりをしていくのかという点でやはり小泉首相のやっている事はちがうのではないかなとも私も思います。

たしかに高齢化社会・少子化社会です。出生率がいま一・三四くらいです。しかし高齢化社会になるとお金がかかるから困るということではなくて、高齢化社会になったことを喜んでどうやったら助け合っていくのか、また少子化社会ということは社会が病んでいるからでしょう、そういうところをどうしていくのか問題なんですね。

ライバルをたたきつぶして私は勝ち組とか、電車の吊り看板をみるとどうやって人を出し抜いてサラリーマンとしてやっていくのか、そういうことが書かれている中で、私たちは平和で助け合って暮らせる世の中、そういう世の中を作ることが困難ではありますけれど大切ですね。

医療現場や福祉の職場は人手不足です。そして非常に安い賃金ですね、介護も時給で安い賃金です。こういったところにお金を使っていくこ

とで経済も平和な方向で進むのではないかと思っています。

来年の四月、神奈川県立厚木病院が厚木市に移譲されます。これもわれわれの運動の中で民間ではなくて厚木市が受けたということもありますので、そういったことも含めて、医療や福祉の問題みんなが住民のためにやろうとしている仕事を充実できるような県政にしていかなければいけないと思います。

こういう場にふさわしくないという気もしますが、組合の特別執行委員で、自治労連県本部委員長の宮崎義民さんが二五日の夜、亡くなりました。がんばってこられた故人の意志を汲み取りながら、私たちが少しでもいい世の中にするためにがんばる事が饒かなとおもいます。

横浜市従退職者会事務局長

内海八朗氏

高齢者に対する施策が非常に厳しいものになっているとき、みんなの手をつないでそういう悪政について出来る所で反撃していくとか私たちの実情を訴えて行くことをしないといけない。先日も国会の方に市従の退職者会の仲間十数人で行って来たのです。世間はワールドカップで

ワーワー言っているのですけれども、国会の回りも騒然としていました。

議員会館の処では座り込みや集会をやっている、そういうようなことをいろいろやって来たのですけれどもあの医療法案は無傷で衆議院を通過した。私たちの活動の広がりがまだ弱いのではないかと

思っています。

横浜市従退職者会は三〇周年というところで、いろいろなことを楽しくやろうじゃないかということ、国内外の旅行だとか、ハイキング、みんなが集まれる祝宴とかを予定して秋から来年にかけてやることにしています。

神奈川県高齢期運動連絡会

事務局長

新倉昭二氏

「備えあれば憂いなし」論、これを打ち破っていく大きな鍵は戦争体



戦をした高齢者がじかに自分達の戦後の苦しみ、戦争の悲惨さということとを話し伝えていく、これが一番重要になっています。

医療や年金問題などを含めまして、九月二日と三日に日本高齢者第一六回大会を東京で持ちます。神奈川の高齢者としてもこれに全面協力をし、延べ千人の動員をします。

議事

一号議案 二〇〇一年度経過報告・

決算報告

加藤利秋事務局長

今年度の加入者八五名をむかえて一〇九三名となりました。加入のおさそいを、教育庁の職場や、四月から国に移管された渉外労務管理事務所にも職場を通じて行いました。会員名簿を手作りでやって、10月号の会報と一緒にお届けしました。役員会は定期に開催しています。また財政確立では、生涯のお付き合いをできるように積み立て会計の財政をきちんとしておくということをやっています。

自治労連県退職者会の会長に加藤事務局長に川井、幹事に秋中・叶井、会計監査に木村、以上の五名の役員を送っています。

医療改革法案反対の署名と、「テロは国際法にもとづいて糾弾すべき

だ、いたずらに報復戦争をやるべきではない」という署名を実施しました。

決算では、収入の摘要欄に記載漏れの内容と、ペイオフ対策の実施を報告されました。

会計監査報告

古怒田さんから決算監査の結果、

二〇〇一年度は一般会計、積み立て会計ともに妥当に執行されたと報告されました。

経過報告についての質問意見

○全国高齢者大会が終わったあと、新聞にもテレビにもぜんぜん出ない。一般国民に対する波及効果をはかるため、大会の様子を全国紙に3ページほど掲載するキャンペーンをしたかどうか。

○逗子のぬくもりの家を訪ねたとありますが、ぬくもりの家というのはどういう内容ののですか。

質問意見にたいして幹事より回答の後、経過報告・決算報告・会計監査報告を拍手で承認。

二号議案 二〇〇二年度活動方針案

鈴木三郎事務局長

情勢で大きなポイントが健康保険の問題ですね、その中身をおさらいしてみますと重点は二つですね。一

つは、一番医療費のかかる七〇から七五才の間一三割負担となるこれは大変なことです。六〇〇万人が老人医療費からはずされることとなります。二つ目は、六九才以下の人については来年4月から医療費が三割負担です。一兆五千億円の負担増です。怒りの声を大きく上げて廃案にしたい。後の決議案に賛成してほしい。有事法制も大変な問題です。やっぱり平和でなくては困る。

憲法九条を護って行きたい。今年度の活動としてアンケートの実施など七項目を提案する。みんなで元気にやりましょう。

引き続いて予算案を提案

質疑応答 ○事務局および趣味の会委員会は、趣味の会世話役と連携を深くし、声をかけあって、お互いに支えあっているという一体感を持てるようにしてほしい。

活動方針案 予算案を拍手で承認。

第三号議案 その他

医療制度改悪に反対する決議(別添)を新井幹事、有事法制三法案に反対する決議(別添)を川井幹事が提案、有事三法案についてのこだま会の運動の進め方について意見があり、役員会議で検討することで承認された。

決議の事後処理について

二本の決議は、それぞれ衆・参議院の議長、各政党あてに送りました。

また、県知事には、代表幹事代行、事務局長が知事室を訪れ、知事秘書に手渡ししました。

特別報告

県政の動向と問題点(要旨)

角田 英昭(県職労中央執行委員)

県庁はどうなっているの?との声を聞き、その動向を報告します。県政も政府の進めている構造改革の流れの中で進んでいます。今日は三つに絞ってお話します。



謹んでお祈り	ご冥福を申し上げます	現在(50音)
飯塚 江成 大塚 木村 近藤 平田 蛭田 米倉 田中	司様 房子様 弘司様 惣次郎様 栄一様 俊一様 あきら様 俊司様 謙二郎様	70才 70才 68才 79才 73才 66才 71才 70才 65才

## 1、市町村合併

昨年9月、小田原と近隣三町が西さがみ連邦共和国を立ち上げ今年1月には湘南市構想が発表され政令指定都市をめざしている。県内市町村は、地方交付税の不交付団体が比較的多く財政的には合併する意味はない。相模原では県域を超えた合併が進行している。政令指定都市の誕生の話で県の仕事、職場がなくなる。例えば湘南市ができれば、三つある保健所や中央児相などがなくなり、二つの土木事務所も縮小される。

自治体は大きければいい、というわけではなく、住民の顔が見えて暮らしに目配りできる規模、広域的には県に期待と要望がある。合併は住民のためになるのか、住民自治はどうなるのか、この点から県の役割を考えていくことが肝要である。

## 2、構造改革

公営を民営に移すことが、県でも進んでいる。特に福祉・医療・社会教育などの分野で顕著である。県立足柄上病院では住民共闘で公立公営を守った。今年度からは独立行政法人化も計画され、試験研究機関・博物館・大学・病院などをどうするか、検討が始まっている。

県立病院の地方公営企業法全面適用も提起されているが、それは一般

会計からはずし負担を減らす目的がある。また、原則採用中止方針や退職不補充、再任用や職場は大変になっている。

## 3、住民には間接的に？

県庁の電子化・システム化で執行体制も大きく変わる。来年度には、国と県と市がインターネットで結ばれる。県税事務所も地方税の電子申告化で再配置を計画している。地域の暮らしをつかむ自治体は、マネージメントをするだけになりかねない。

これらがすべての分野で進行している。適切に分析し、住民にわかるようにして、県・市町村一体で県民の暮らしを守っていくことが求められている。

最後にお願いをかねて公務員制度改革にふれます。これは、公務員が権力からの公平を保つため第三者機関(人事院)に認めていた権限を内閣に集中する。同時に、公務員の意識を変えるため新たな人事評価・給与制度を導入するものです。定昇はなくなり、給与やボーナスの加算部分は能力による人事評価で決まりま

## 声・声・声 せいかつ短信

総会の出欠に合わせて、みなさんから近況・提案・要望などいろいろな声が寄せられました。

まだ仕事を持って働いている方、地域活動や趣味を楽しんでいる方など元気な方が多い反面体調が悪く通院など療養につとめている方も多数見られ、健康を回復されて参加できるように願っています。

紙面の都合で、「総会の成功を」「幹事ご苦労様」「お世話になります」などのご挨拶は省略させて頂きました。なお、順序不同で一部省略や文字の訂正をしております。お許し願います。

ネタキリ100才の母との二人ぐらし。介護に追われていますが元気に頑張っています。

現在秦野技術校にて求人開拓員として勤務をしています。

鈴木志げ子氏が代表幹事を退任なさったようですが、長期間ご苦労様でした。今後共幹事としてのご活躍を期待いたします。

この三月で三年間の非常勤勤務も終わりになるはずで、二十六日、退職のごあいさつまでも済んだあと、午後とつぜんよばれ、保健福祉事務所の健康相談、水や細菌検査の受付とレジの仕事が突然たのまれました。

前任の人は、勤務条件のひびきにイヤ気がさしてやめてしまったとのこと。A4・3頁の改善要望を提出、県民サーピスと勤務条件向上を迫り、たたかいつつ奮闘中です。1カ月で体重が3kgへりました。

(千島ミツ子)

胃全摘後二年余になりますが、相変わらず体の倦怠感、特に両足がひどく坂道、階段の上りに苦勞しています。先日かめ会で喜寿のお祝いを受ける事が出来ました。肝ガン胃ガンと二回の手術でしたが、まだまだ頑張りたいと思っています。

(岸本 正史)

こだま会の活動にいつもながら感謝しております。少し遠方なのでごぶさたばかりですが、折をみつけて横浜へ行くつもりです。

(吉井 進)

平成九年に退職後の五年勤めも今年の三月末に完全リタイアしました。現在は勤め人をやっていた時より多忙となりました。

(小山 兼治)

非常勤職員の勤めも三年目に入り

(文責・木村)

(中村 桂子)

ましたが、今年は海の試験場から川の試験場(内水面試験場)に移り、今、メダカやホトケドジョウ達を仲間にし毎日頑張っております。生きもの相手ですので気を抜けない毎日ですが、やりがいをもつけあと一年頑張ります。(石崎 博美)

地域の自治会活動に従事しながら趣味の盆栽の手入れに明けくれています。県職員四十年の経歴が地域住民の信頼につながっている事を自治会活動を通して感じ、県職員であった事に感謝です。

(小梶 藤幸)  
つね日頃、こだま会にはなにかとご配慮をいただき感謝しております。たまには出席したいと思っておりますが、まだ現役で働いております。

(大川 照雄)  
退職後六年目ですが、第二の職務に何とか頑張っております。

(加藤 房尾)  
この度、鈴木代表には辞任されることですが、誠に残念に思っております。長い間会の発展に心身をそそがれ会を明るい楽しい運営にご尽力下さいました。本当に、ご苦労様でした。しかし幹事に残って下さるとのこと、少し安心しております。これからもお元気でよろしくお願ひ申し上げます。(小林 滋樹)  
こだま会二十周年記念事業の一環

として「海外ツアー(社会福祉・高齢化社会などの視察)」を企画してみたら如何でしょうか。こだま会報に「あの人は今」という欄を設けて、紹介してみたら、会員相互のつながりもより密接になるのではないのでしょうか。(七宮 清)

平成七年に退職し、最近は医者通いと薬の数が増える傾向にあり、医療費の負担増問題は大きな関心事です。いまは女房共々元気なうちにと海外旅行を心掛けており、お陰でかなりの地域を見聞できました。風俗・食事など国ごとに面白く、これからも頑張ろうと思っております。印象深い地域があったら教えて下さい。(寺松 正孝)

大変お世話になっております。一人暮らしですので体に気をつけて頑張っております。こだま会に入会できずして幸いです。(松下ヒサ子)

今、落語の寄席にこっています。月々月末に翌月の近隣の寄席案内とテレビ・ラジオの案内パンフレットを発行しております。サポートセンター・中央図書館・ウェルシティに置かせて頂いております。年二回福祉寄席や若手勉強会を隔月に催しています。受持の講座絵手紙(木)話し方(月)とかち合い貴会行事にも出席出来ず残念です。(岡本 一一)

鈴木代表幹事が退かれたとの由、永い間こだま会にご尽力下さいまして有り難うございました。お元気で過ごして下さい。(岸 一衛)

旅行と木彫画の製作を楽しんでいます。5/14、5/21北欧4ヶ国を回って来ました。皆様の御健闘を祈ります。(小笠原 勇)

諸問題にいつまでも関心をもっており、取り組むつもりです。(植田 武二)

非常勤勤務を終了し一年を送りましたが、ゆつたりした時の連なりの中で、四月には大分県中津の学生時代の親友を訪ねての九州遊歩、そして今年一年間をかけて板東札所三十三か所めぐりで心の平安を。草枕、旅にもあれば……の心境の日々を費やすことが多くなりました。つつましく、穏やかに、静かに、何んでもそんな楽しみ方を、したいと思っております。保険関係ではいろいろとお世話になり有り難うございます。(植田富久子)

お世話になりっぱなしで、申し訳なく思っております。たまには何かしなくてはと思っておりますが、寄る年波には勝てずブラブラしている状況です。地域のボランティアでもと思っておりますが参加方法がもうひとつ分かりません。(岡本 孟)

県を退職して十二年再就職を退職して八年となりました。民生委員・児童委員十年目で地区会長、市副会長です。関連で、市社会福祉協議会、評議員、市介護保険運営協議会委員、市児童虐待防止連絡協議会会長などをしています。(秦 正喜)

最近、県職員が電車内で、チカン等破廉恥な事件を起こすことが新聞等で報ぜられている。これは何か、当局の管理が厳しいからか、あるいは無関係なのか調査してほしい。(村崎 亮一)

行政書士にて毎日多忙ですので、当日は欠席させていただきます。(阿部 将)

趣味の会には、是非参加させて、いただきます。(奥田 英雄)

元氣です。(小林 文夫)  
楽しみにしておりますが、会社の都合で欠席致します。(飯井 隆介)

退職して七年、神奈川労働局の労働総合相談員として頑張っております。平日の総会ですので残念ですが欠席します。出来れば土曜日等の開催をご検討ください。(内藤 光夫)

会合等の欠席が続けていますが、体調の戻った晩にはぜひ、総会やら

旅行に、行きたいと思っています。

(日比野貞美)

退職者「こだま会報」を毎号、楽しみに読んでおります。

(曾我 茅子)

J Aセレサ川崎に勤務しています。

(伊東 裕孝)

二〇〇二年三月末郷里大分に戻りました。

(三浦 泰昌)

健康状態が悪化し、長距離、長時間の単独外出が困難になってしまいました。しかし社会に取りのこされたくないで、「五十の手習い」ならぬ「七十五のパソコン」に挑戦すべくパソコンを買いましたが、中々旨くゆかず孫に教えてもらっています。

(下山 健三)

近頃、とかく出不精になった。見聞が広がらず、生活の変化に乏しい。

(鈴木 敏昭)

都合で出席できませんが元氣です。十月には、又々老人医療費の改悪があるように聞いていますが、こだま会報第五十一号のようにわかりやすく教えていただけると、ありがたいです。

(市川 忠勝)

今は家で、野菜作り、お花作り、真綿作り、歩け歩け：等、分身がほしいほど忙しく好きな草木染めはたまにしか出来ません。それでも五月二十九日は根岸シルバークラブのバス旅行で山梨方面に行き、サクラ

ボは甘く、おなかいっぱい食べて、とても、しあわせでした。又皆様に

お逢い出来る日まで、感謝。

(難波 ハマ)



医療補助のことですが、何千円以上が対象になるのか、最低の額がわかると苦労しないのですが、請求のときいつも悩みます。

(山田 勝平)

一味異なる趣味の会は考えられませんが。例・川をさかのぼる(川上

↓川下)・水源地(里山)との交流・

谷戸田の風景・高齢者との交流(茶

畑)：

いつも欠席ばかりで申し訳ありません。年齢の増加と共に足、腰も弱

くなつてまいりました。

(吉原 重郎)

こだま会の文学歴史紀行に参加させていただきたいと思っています。

(懸田 護)

元氣に楽しく暮らしています。

(大津 敏雄)

こだま会報を興味して拝読しております。家族に病人がいてなかなか出席出来ません。

(荻部 清)

六十九歳になりましたが、小康を得て居ります。会員の皆様にも健康に留意してますます、お元氣でありますよう。

(戸村 五郎)

骨折等を繰り返しています。

(宮崎 民子)

相模原において、平和運動に微力ですが、働いています。有事法制はなんとしても廃案にしなければなりません。百万人署名運動・湘北連絡会 101072-7780459

(鎌田 利治)

最初から欠席は心苦しいのですが仕事の都合で、調整が出来ませんが

こだま会の今後の発展に期待しております。

(藤島 昭江)

安くて確かな人間ドックの紹介を希望しています。

(荒井八重子)

まだ元氣で働いております。

(小松 克正)

ヨガ教室、マッコー法教室を通じて地域での健康づくりのお手伝いをしていただいております。お蔭さ

まで元氣で楽しく過ごしております。

(塩原 国雄)

元氣にて毎日を過ごしています。

(山口 利弘)

新入会員です。四月以降、今年度からスタートした「再任用制度」で足柄上保険福祉事務所に週四日勤務しています。岡崎知事の「新規不採用」方針により、現場は私を含め非正規労働者の比率が高く大変です。でも週一日の休みは貴重で、ジワリと「次」の人生にふみ出したことを実感しています。

(中原 保彦)

真面目な事とは何だろうかとギモン?に思う昨今。賛成・賛成 なんでもサンセイ 反対・反対 なんでもハンタイどれが真実かな

(大野知多夫)

お蔭様で健康に恵まれ孫達との七人家族の他愛もない生活に明け暮れています。

(岩田 近)

会報五十六号ありがとうございました。毎回すばらしい内容で楽しく読ませていただいております。四月五日(金)の幹事会で鈴木志げ子様が代表幹事を辞任されたとの記事を拝見してびっくりしました。長い間

ご苦労さまでした。私今回も足の調子がよくなって欠席です。

(湊 ふみ)

夫が十二日診察の結果十四日入院

いたしますので欠席させていただきます。  
 (平能 芳子)

退職して十二年になります。三年前大病しましたが、その経過は順調で、毎日、前向きに過ごしています。  
 (平野 拓男)

OBになって二年目になりましたが相変わらず農総研で元気に働いています。「こだま会報」楽しく読ませていただいています。  
 (市川 幸夫)

梅雨に入り、うつとうしい日々です。六月十四日二俣川サンハートホールで年金者組合「さわやか女性のつどい」に参加させて頂き、増本一彦氏の講演「有事法制」等。ユーモアをまじえたお話で勉強になりました。  
 (冨田 幸子)

元気で働いています。  
 (佐藤 隆夫)

鈴木前会長さん、永い間お疲れさまでした。ありがとうございます。昔々仕事柄目を酷使したせい、四年前に緑内障にとりつかれました。皆さんも眼圧測定と視野検査で早期発見にこころがけて下さい。  
 (大林恒四郎)

定期総会に出席できなくて残念です。サッカーのワールドカップは大変盛り上がりがあります。日本経済も元気が出て景気が良くなればと願っています。小・中学校の児童生徒に

対する支援として野鳥を中心に総合的な学習指導に協力しています。  
 (塩沢 徳夫)

団体やスキー指導などのボランティア活動で元気で頑張っています。  
 (榎本 勝雄)

お蔭様で元気に楽しい日を送っています。厚生年金受給者友の会のゲートボール大会にも参加させて頂いています。  
 (河久保矩夫)

体調の都合で出席できず毎日が二人三脚の生活の暮らしますが、医療改革・有事法制・福祉報告等は関心を持って拝見しております。(不動産関係は今でもわからないことが多くて困ります。)二年経過して問題点とは何だったのでしょうか(介護保険二年後のことです)人生の最後が救急車になっては淋しい気がします。(注 意味のわからない箇所は考えないでください)これからの歴史紀行と俳句をたのしみに行っています。  
 (中根 勇)

激しく動きが速い時代、とにかく行動なくしては、進歩もしない。一千名の組織力を共通項目にもっと活用出来ないものか。会報で情報を流す事と教宣活動も大事か、こだま会の存在をアピールする努力を続けて欲しい、親しみにもてる会にしたい。  
 (叶井 進一)

こだま会の「楽しい俳句教室」の

おかげで、全国の新俳句人連盟第三十回雑草賞に二・五月に努力賞を受賞しました。テーマ性をもった作品ということださそうです。これも仲間達のおかげと感謝いたしております。今年も多くの新会員をおまわしています。  
 (小川 政則)

私も膝痛のため、病院に通っていますが、会議に出席します。  
 (長瀬 昇)

元気で毎日、楽しく過ごしています。八月には、カナダのバンクーバーに二週間行って、ゴルフ・アルペンルートのドライブ・釣りなどして家内と一緒に遊んでくる予定です。総会、今年も楽しみにしています。  
 (中原 四朗)

定年後の再々就職をしました。(三月三十一日付で)四月一日からフリーです。妻に怒られながら家事にまごついています。  
 (湯川 勉)

向上心に欠けるため、学ぶことが億劫になり、折角教養コースも設けて下さっていますのに参加もせず失礼して居ります。趣味の会には是非と思いつつも私的の旅行などと同日になったりと、なかなか参加させて頂けなく残念に思うことばかりです。：が何時も色々企画してくださり感謝して居ります。(船橋 雅子)

今回の会報にアメリカカンファミ

リー(樹)の広告が入ったことは紙面活用の収入源としてよいことです。月号とも、全労災・労金の順で掲載するよう期待します。  
 (尾玉欣一郎)

毎日日曜日のせい、毎晩夜ふかし(テレビ)で朝は九時にならないと目がさめない毎日です。一日がみじかく感じていきます。最近足が重くなったようで歩くのがおっくうになってきました。皆さんの中で足がかかるような方法(薬、薬草、あるいは、つば)を知っている方がいましたら? (山崎 重夫)

時節がら私達高齢者も決して安心してはおられません。多くの願いや要求を実現して行くために、地域での組織的な運動を活発することにも大変重要だと思えます。そのためにも、仲間が信頼しあって、結びつきを強めてゆきたいものですね。  
 (小野 正良)

希望者だけでよいのですが、県政の現状、市町村合併・有事立法などについて学習する会を設けては? (小畑 一)

有事・医療改善法等、なんとかくい止めなくてはの思いで今いっばい。今年三月退職して三ヶ月になります。どうぞよろしくお願ひします。  
 (白井りつ子)

元気に聴講生として大学で勉学に

勉めています。(木村 祕子)

三年前より足が悪くなり、歩行困難となりその他にパーキンソン病と重なり介護認定を受け、週二回デイケアを受けている状況です。

(佐藤千代子)

当地(ふるさと)に転居して一年が経過しました。自由な時間を有意義に使うことが出来るようになりました。別府へは車で15分です。

(大分県・松村美知子)

近ごろ出掛けることが不精となり、日々を何げなく過ごしています。皆様方と雑談などしたいと思っています。

(高橋 芳夫)

五月晴のよい気候になりました。おかげで傘寿を迎え一病息災無事消光しています。昨年右の方を六月に今年は左の方の白内障の手術を六月に行う予定にしています。

(古谷 守正)

新聞等みるたびに高齢者にとって不利益ばかりの暗いニュースにがっかりする日々です。私達は青春を捧げ戦後は僅かな賃金で生活など出来るはずもなくやっとの思いで過ごした事など思いだしますと口惜しいの一言です。

(加藤 登喜)

死を憎まば、生を慈しむ  
存命の喜び日々に楽しまん。

(白井保次郎)

私は引続き大和市みどりのまちづくり振興財団理事長の職について居り、当日はどうしても出勤しなくてはなりませんので、欠席させていただきます。(市川 清)

私、今日はお仕事です。来年三月まで青少年センターで勤務させて頂いておられます。次回は出席出来ると思います。(山本 正子)

退職して一年が過ぎました。今のはんびりと好きな旅行や観劇を楽しんでいます。医療改悪・有罪法制には反対です。(鳥井 喜代)

県を退職したことが十年ひと昔のこととなりました。十年ひと未来は痴呆にもならず、普通に暮らしているものかなあと、心細い思いを抱えながらも時折小旅行を楽しむ昨今です。現在は生活習慣病をコントロールしながらどうやら健康といえる毎日を送っています。(田中 和子)

県を退職した、次の日からコンサルタント会社に再就職して来年の春には十年となりますが、おかげ様で元気に、毎日県内外を活動しております。(島津 要二)

こだま会報、楽しみに読ませて頂いております。ありがとうございます。まだ孫が小さいので子守と保育園の送迎で(時々)忙しい日々を送っています。(小澤ミネ子)

自分に出来ることが少しずつ見つかかりマイペースで忙しくしています。昨年は骨折、健診での再検査等がありました。今は健康に過ごしています。それにしてもどこまで弱者をいじめる政治が続くのでしょうか。(太田美保子)

皆様方御元気で一層ご活躍ください。私は病院には通院してありますがまあまあです。(林 和平)

会報は楽しみに読ましてもらっています。相談コーナーで取り扱った事項の概要を記載して頂けると、何かと生活の参考になるのではと思っています。多用中大変とは思いますが希望いたします。(秦 安美)

ご無沙汰しています。総会には残念ながら出席できません。俳句の会ではそれなりに頑張っています。母も今のところ元気ですが寒さに弱いので何かと注意が必要です。この夏には白寿の祝いを身内でやる予定になっています。(島田多嘉子)

月・木曜は11時~13時をマタニティスイミングの為失礼させて頂きます。(金子 ナカ)

まだ総会に出席したことがありませんので出来たら出席と思っておりますが丁度病院に行く日と重なってしまいました。又いずれ出席させていただきますたくつもりであります。(江原 陽子)

近況の自作句

七十路を鏡に写す更衣  
外出もなく吟詠楽しむ梅雨一日  
うす味になれて夕餉の冷や奴

(須藤 伸成)

「有事立法」制定は断固たたかっ  
て行きましよう。今、大学で勉強し  
ています。

(桜井 ふみ)

小生、現在社会福祉の施設で学童保育の手伝いをしておりますので、総会に出席できません。整体療術師の資格を得ました。又介護専門員の資格も有しておりますので、今後会員皆様のQofL運動のお手伝いをしてみたいと思っております。(稲本 春雄)

今国会報道を聞いた見たりして  
いると昔々にもどっているが如く、  
有事立法他三法等、なにをしよう  
と  
思っているのか、どこへ日本をも  
つて行こうと、しているのだろうか、  
即ちアメリカの第52州に日本をし  
ようとしているのではないか。そん  
なのやめにしようよ、やめさせよう。

(牛尾 隆幸)

小生、非常勤嘱託が続いておりますので、今回は欠席します。

(相馬 孝彦)

歴史紀行・ウォッチングにぜひ、  
出席したいと思っております。

(矢澤 昭二)

# 楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道  
ご一緒に歩きましょう!!

部会の申込みは、

葉書で事務局へ

## 食文化を楽しむ会

とき 七月二二日(金)  
11時~13時

ところ 横浜市健康福祉セン  
ター

参加者 14名

講師 上野多恵子会員

今回は老化をふせぐ薬膳について先生から五臓六腑のおとろえ、とくに腎、肺、脾が関係するのでこの三臓について話を聞き、その後夏の薬膳料理の食材の説明を受け、三班に分かれて次のメニューを作りました。

トウモロコシ入り梅ごはん

(生津、利水、溼)

出来上がりに大葉を刻みごはんにまぜる。

トリ肉のラビゴットソースかけ

もの)

(血を補い血流をよくする  
肉は一口大に切り、塩胡椒をし

て粉をつけていたため赤ワインを加え火を通す。別にセロリ人參等の野菜に枸杞、紅花酢、サラダ油を加えてソースを作り、サラダ菜をしいた皿に肉をのせソースをかけて出来上がり。

銀耳と野菜の落花生和え

(清熱、潤肺)

材料をこまかく細く切りカニ缶を加え、五味子酢や調味料とつぶした豆で和えたもの。

ハイビスカスポンチ

(理気、補血、補気)

ハイビスカスを水に入れ色を出し、蜂蜜・なつめを入れ火にかけ。団子(白玉粉、茯苓粉)を練り鍋に加え、火が通ったらブルーインも加え、一煮立ちして出来上がり。冷蔵庫で冷やすとなおよい。

葉茶(おおぎ麦茶)

気の働き(肺、脾)を大いに高める

薬膳に使う乾物の食材は、お湯で戻しておく一手間の大事さを感じました。

今回は食前酒(残りのワイン)で乾杯し自前の料理で昼時を楽しく過ごしました。

今回は食前酒

(残りのワイン)で

乾杯し自前の料理

で昼時を楽しく

過ごしました。



## こだま句会が吟行

〈多喜二の宿と自然保護センター〉

丹沢山裾の緑が目目に沁み夏雲の光る七月一日、こだま句会は夏の吟行を行った。一行八名は本厚木バスターミナルに集合。七沢温泉行きのバスで、まず福元館に。プロレタリア作家小林多喜二がこの旅館に逗留したのは昭和六年三〜四月である。残酷な拷問で八年二月二九歳の生涯を終える二年前になる。

多喜二が当時使ったと言う卓袱台や置炬燵などが置かれ、壁に丹前が掛けてあった。ここで小説「オルグ」を書きあげたと言う。多喜二がここに来たいきさつは、現女将の夫の姉が通っていた学校(現厚木東高)の女性教師から頼まれ、男気のあった当主の母が引き受けたと言う。当時地下で活動している者と連れている人を助けることは命がけの時代で、多喜二も捕らわれ特高警察の拷問で一命を落としていた。旅館では多喜二の事は長く沈黙してこられたが、多喜二の切手が出るような時代の変化のなかで明らかにした。最近不景気で困るな

青嶺風多喜二の座敷吹き抜ける 貴布枝

真筍子のつと突き出る多喜二背に 正隆

夏めくや多喜二の宿の置炬燵 多喜子

緑陰の離れ座敷に多喜二かけ 美代子

多喜二宿暗き時代より梅雨末期 勉

杖をつき夏日のかげの苦界かな 爲康

茅舎忌や多喜二ひそみし宿にいて 白象

夏の嶺隠れ家尾根へ忍び道 水草

人棲まぬ生家に盛る手毬花 伸成

「折ればよかった」筍呆けきる旅籠 つぼみ



かを多くの客が来て、多喜二のおかげと喜んでい。一行は見学と休憩のあと自然保護センターまで歩き、昼食、施設見学に続いて句会を行った。投句は二句、矚目をテーマで行なったが、有善法三法案が国会で審議されるだけに有意義な吟行会となった。主な句をあげると次の通りである。(小川水草)

## 合同句集 十二橋

酒匂俳句会・編刊

2000年6月発行

いつも「こだま俳壇」に投句下さっている須藤伸成さんの属する句会12名の句集です。「生きがい趣味講座」から発展した会で、発足以来10年近く経ち平均年齢は72才自分史の一環として編まれていきます。須藤さんご夫妻で参加、それぞれ「生きる観」生活の中の句に楽しく迫っています。(木村)

予告!! 予告!! 予告!! 予告!! 予告!!



●秋の観劇会

国立劇場一二月公演へお誘いいたします。

とき 11月17日11時開演  
ところ 国立劇場大劇場  
演目 通し狂言仮名手本忠臣蔵  
出演 中村雁治郎ほか  
費用 一等A席 七、八〇〇円  
(二割引)

同時解説イヤホンガイド特別割引券がついています。

申し込みは9月30日(月)までにこだま会事務局へハガキで申し込んで下さい。

●歴史教室(散策)

テーマ 東海道「品川宿」を歩く

とき 9月9日(月)

京急北品川駅10時集合

コース 旧東海道「品川宿」を南下し、残されている文化財社寺をたどる。

講師 中村猪一郎会員  
参加希望の方はこだま会事務局までご連絡下さい。

●第二回文学・歴史紀行

鎌倉の切通しを歩く②

主なコース

英勝寺―浄光明寺―化粧坂―日野俊基墓―亀ヶ谷坂―東慶寺―円覚寺  
日時 9月27日(金) 午前10時

場所 鎌倉駅西口集合  
参加費 三〇〇円(拝観料は別)  
その他 弁当・飲物持参(雨天の場合)は10月4日(金)

ガイド 生方武羅夫

参加ご希望の方は次のいずれかにお申し込みください。

▼生方武羅夫

電話〇四五―八三三―二二六六

▼こだま会事務局

電話〇四五―二二二―三一七九

●スキーを楽しみませんか

来年の一月〜二月頃、今年スキー旅行にいった北海道・富良野行きを計画しています。暑いうちに雪を思うのも楽しいことです。

一〇月頃には旅行社との取りまとめをしたと計画中です。

参加希望の方は、返信用封筒に住所、氏名を書き、80円切手を貼ってこだま会あてに資料請求をして下さい。

●楽しい俳句教室へ

どうぞ参加を

この教室はこれまで一六回開催してきました。現在一名の仲間が勉強しています。山本つばみ講師の指導でだれでも楽しく俳句が上達できます。初めての人も含め、ご参加をお待ちしております。

九月一九日(第三木曜)午後一時  
三〇分から こだま会事務局  
一〇月一七日

一二月二日

一二月一九日

申し込み、問合せは、こだま会事務局、または小川政則(Tel 042-1742-2253)まで

●お説して訂正いたします。

会報No56で次の校正ミスがありました。訂正して下さい。

9頁2段目後から4行目  
作業療養士↓療法士  
10頁1段目後から7行目  
一部負担↓一割

事務局からのお知らせ!

趣味の会活動世話人打合せ会開催  
こだま会の趣味活動も自主的な運営を基本に拡がっています。楽しい趣味活動のいっそうの拡がりを願いました。参加は自由です。ご希望の方はぜひご出席下さい。

とき 一〇月八日(火)一四時から  
ところ 県職労本部三階会議室  
問合せはこだま会事務局まで。

編集 後記

暑いの一言、ウダリながら編集完了しました。二年ばかり休んでいたパソコンを6月に新しく求め再挑戦、8月14日メールの送受信に成功。便利な機能がついて、かえって複雑のよう。生活はシンプルがいい。(木村)

編集・発行  
県職労退職者こだま会  
発行人 生方武羅夫  
発行日 2002.8.20

No.57

〒231-0023  
横浜市中央区山下町57-1  
神奈川県職労内  
TEL.045-312-3179(代表)